

# 太陽光発電の売電収益を活用して農業経営の安定化



佐山発電所 1号



佐山発電所2号



地域特産品の白桃

## <概要>

- 事業実施主体：山本桃畑 代表者 山本圭介  
(岡山県岡山市北区)
- 発電設備：太陽光発電  
発電出力 計 71kW  
発電電力量 計 8万6千kWh/年  
〔佐山発電所 1号 (発電出力 20kW 運転開始時期：平成27年9月)  
佐山発電所 2号 (発電出力 51kW 運転開始時期：平成28年6月)〕
- 建設費： 600万円 (1号)、1,500万円 (2号)

## <特徴>

- 新規就農後の収入の安定を図るため、農業（桃栽培）に加えて太陽光発電事業を計画。
- 佐山発電所 1号は、果樹園の一部（法面）に「農地の一時転用許可」を受けて簡易な支柱等を活用した発電設備を設置。
- さらに、発電事業を拡大するため、樹園地周辺の山林を活用して、佐山発電所 2号を設置。
- 農業経営に支障がないよう、主に農閑期に工事を施工するとともに、造成工事や架台設置工事を農家自らが可能な範囲で実施することにより、建設費を軽減。
- 今後、売電収益を活用して、農業経営の安定化を図りつつ、耕作放棄地の再生による経営規模拡大や、地域での雇用創出（栽培管理、収穫・出荷作業）による地域の活性化を目指していく。

※ 農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（H25）において発電事業構想の作成等を支援